

「スーパービジョン  
～認定スーパーバイザーの途上で～」  
医療法人松原会ピアサポートのと 河元 寛泰



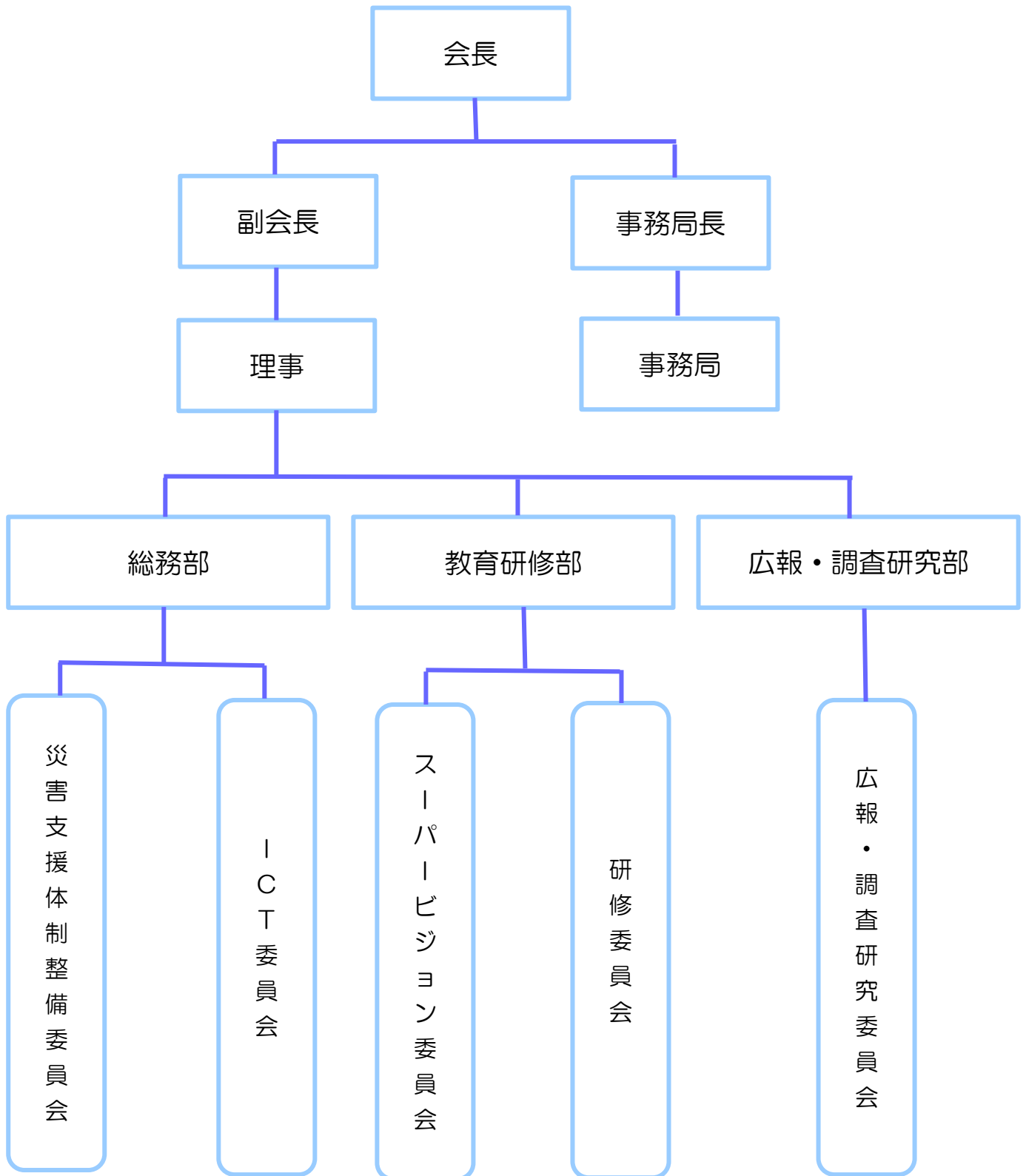
令和4年度より理事に再任いたしました河元寛泰です。仕事の場合は七尾市、奥能登、白山市を経て七尾市に戻り、気づけば精神保健福祉士として19年が経ちました。後輩たちができ、色々な場で働くことで所属や地域を超えて人とのつながりができ、経験が積み重なると共に相談されることも多くなりました。しかしながら私自身、想いを言葉にすることが苦手で専門用語に頼りやすく、気づきの視点も鈍く、周りに合わせやすく、精神保健福祉士としての自信がないと今でも痛感しています。

そんな私ですが1つの転機がありました。石川県精神保健福祉士会（以下県士会）で行われたグループスーパービジョン（以下GSV）に参加したことです。私は1年目からクライアントとの関わりを先輩と振り返る中で自身の関わりを見つめることを積み重ねていきました。今思い起こすと「その事がSVにも通じることだったのでは」と思いますが、当時の私にとって、スーパービジョン（以下SV）は敷居が高く、一歩を踏み出せない自分がいました。一方「なぜ自分はこの様な関わりをしたのか」「どの様に話せば相手に伝わるのか」等考える機会も増え、課題が次々と現れました。思い切って参加したGSVでは、仲間同士で語り合うことで、絆が深まりました。日頃の関りを点検することで、多くの気づきを得ることが出来ました。以前より、職場の先輩精神保健福祉士が活用している話は聴いていましたが、こんな私でも「また明日から一歩ずつ進んでいこう」と感じるなど、皆から元気をもらえたことを思い出します。この経験は今でも私の原動力になっています。経験を積むことで、感じていたSVの敷居が、どんどん低くなりました。その後、県士会より認定スーパーバイザー（以下SVR）養成研修参加について話を聞き、このタイミングしかないと思い受講しました。

研修では、著名な精神保健福祉士の方々からSVについて余すところなく学べ、受講後にはリフレクションの時間があり、講義で気づいたことや、実践を内省することもできました。またこれらを演習にて言語化して伝えることで、より理解が深まりました。さらに、演習で全国の仲間たちと語り合うことで、日頃の悩みや葛藤など共感することができました。研修を経て“自分は言葉にするのが苦手”“自信がない”と、できない理由を用意している自分がいたことに気づきました。3日間の研修は内容も濃く、多くの課題に気づき、今の自分を見つめる時間となりました。今は同研修の実践編に移り、県士会の会員の皆様からスーパーバイザー（以下SVE）を公募し、試行的に個別スーパービジョンを実施中です。毎回“SVの気づきになったのか”“想いを言葉にして伝えられたのか”と試行錯誤しております。

研修を受けても、元々の性格もあって不安や自信のなさはあります。しかし研修では、その人のペースでお互いに気づき、成長していくことが大事だと教わりました。皆さんはクライアントとの関わりの中でつらいことや揺らぐことはありませんか？ そんな時、ともに向き合いながら成長し、何より元気になれるSVを行う認定SVRになりたいと思います。皆さまのお手元に届いたSVの案内を見て、少しでも興味がありましたら、力になりたいと思いますのでぜひご検討ください。

☆石川県精神保健福祉士協会 組織図☆



## ☆精神保健福祉士会 部会・委員会紹介☆

石川県精神保健福祉士会では様々な活動を行っております。今回は、部会や委員会について紹介します。

### 総務部の紹介



#### 総務部長 中田 史朗（ピアサポートはくさん）

令和4年度より、県士会の総務部長を務めることになりました中田です。前年度までは教育研修部長を務めさせていただいていました。

令和の世になっても精神科病院や事業所での虐待がメディアで流れるたび、精神保健福祉士としてだけではなく、個人としても憤りを感じずにはられません。精神保健福祉士の活躍するフィールドは拡大し、求められる役割も多様になっています。未だに精神障害を抱える当事者の権利が侵害され続けている現実があるということを感じながら、「自分たちに何ができるのか」を県士会の皆様とも考えていけたらと思っています。

総務部では、災害時の支援体制の整備や、コロナ禍における県士会活動の効率化を図るためのICT環境の整備などを行っています。また、日本精神保健福祉士協会や隣県の支部と連携して、基幹研修の企画運営及び各関係団体との連携強化もおこなっています。会員の皆様が共に学び、精神保健福祉士としての専門性や支援の質が向上するよう、今後も微力ながら県士会活動に尽力していきたいと思います。どうぞ宜しくお願いします。

#### 災害支援体制整備委員会 小町 健（矢田野ファクトリー）

石川県は、2007年（平成19年）に能登半島地震にて甚大な被害があり、近年では各地で大雨や大雪・強風等による災害が起こっています。災害支援体制整備委員会では、県支部構成員が災害対策について意識を高め、平時より災害体制の整備を図ることや、効率的に精神保健福祉士の専門性を発揮できる体制を構築していくことを目的に、活動を行っています。

現在の主な活動は、石川県内を「能登・金沢・南加賀」で大きく3つのブロックに分け、その中で各ブロックに1名の災害対策委員と17名の災害対策地区委員が所属し、平時より各ブロックの状況などを、メーリングリストを活用して情報共有を行っています。メーリングリストは、有事の際には規模の大小にかかわらず、委員自身の安否や周辺の状況を発信するために使用しています。最近で言えば「大雪」「令和4年8月の豪雨」「JRの運休等で通所している利用者が帰宅困難となる恐れがあった際各エリアの状況がどうなっているか？」等を、それぞれが発信して情報共有をはかりました。

また、令和3年11月には東海北陸ブロック内での連絡会、令和4年11月には日本精神保健福祉士協会の講習会が開催されオンラインにて参加しました。

## ICT委員会 堀米 俊平（松原病院）

ICT（Information and Communication Technology インフォメーション アンド コミュニケーション テクノロジー）とは『情報通信技術』のことを指します。では『情報通信技術』が何かと問われると、正直ちんぷんかんぷんです。早速インターネットで調べると「パソコン・電話・スマホ・すべての通信に関わる機器のこと」または「インターネット等の通信ネットワークの概念そのもの」とあります（ウィキペディアより抜粋）。

現在、当委員会では広報・調査研究部から引き継ぎ、県士会ホームページの管理を行い、主に「県士会主催の研修や活動・その他事務局に寄せられた研修の案内・精神保健福祉士に関連した県内の求人情報」などを掲載しています。なるべく陳腐な内容にならないよう、随時情報を刷新していくように気をつけています。

またホームページは、会員皆様以外にも、他職種の皆様や、これから精神保健福祉士を目指す方、及び地域の皆様なども閲覧可能です。今は、ホームページ以外にもこういった形で必要な情報を発信していったらよいか、模索中です。お手持ちのパソコンやスマホで『石川県 PSW』と検索するとHPが出てきますので、ご覧いただき、ご意見・感想をいただけたら幸いです。

## 教育研修部の紹介

### 教育研修部長 寺本 庸介（白山市役所）



こんにちはこんばんは、教育研修部長の寺本です。

簡単に自己紹介しますと、職場は白山市役所に所属して、基幹相談支援センターの一員として働いています。プライベートでは2児（2歳と5歳）の父として、主に仮面ライダーの悪役を担って、日々奮闘しております。今年で不惑の40歳になるのですが、仕事でもプライベートでも迷いまくりながら、助けてもらいまくりながら、なんとかかんとか頑張っています。

ここ数年はコロナ禍という事もあり、研修会もオンライン中心で、皆さんと直接お会いできる機会も減ってしまいました。そのような中で、研修に参加しづらくなっている会員も「少なくないのではないか」と思います。私自身も本当はオンラインではなく、直接集まる研修の方が好きで、会って話して、その後飲みにもでも行きたい派ではあるのです。ただ、オンラインにはオンラインの良さがあることも、やってみて実感してきているところです。

教育研修部では、オンライン環境でも研修やスーパービジョン等を通して、会員の皆さんに研鑽の機会を提供するとともに、参加者が顔の見える関係づくりができる場となるよう、委員一丸となって工夫を凝らして企画しています。皆さんも是非ご参加くださり、私と一緒に感ってくれるとうれしいです。

また、一緒に企画してくださる委員も常時募集しています。興味のある方はいつでもお声かけください！楽しいですよ。

それではまた、研修でお会いしましょう。ごきげんよう。



## スーパービジョン委員会 岡安 努（やたの生活支援センター）

スーパービジョン委員会では、①個別スーパービジョンを希望する会員へのスーパーバイザー紹介、②グループスーパービジョンの企画・実施、③スーパービジョンの普及のための広報や研修の実施等の活動を行っています。

精神保健福祉士として働いていると、ご利用者やご家族との間で、そしてチームや組織の中で、たくさんジレンマやプレッシャーを感じることもあるのではないのでしょうか。そんな時、スーパービジョンによって自分自身を見つめる体験は、単なる事例検討では得られない、学びや経験を実感できる機会となると考えています。

一方で、スーパービジョンをハードルの高いものと感じている方も少なくないのではないのでしょうか。県士会は会員数に対して、日本協会の認定スーパーバイザーの人数が全国一位です。そのため、スーパービジョンを県内で受けられる下地はあります。当委員会では、会員の皆様がスーパービジョンを少しでも身近に感じ、多くの方がスーパービジョンを経験いただけるよう、今後も様々な企画をしていきますので、少しでも興味を持っていただけると嬉しいです。

## 研修委員会 河野 有香（相談支援事業所やまなか）

研修委員は総勢 12 名で、会員みなさんによりよい研修をお届けしたいという思いで企画・運営を行っています。

コロナ禍が続く集合での研修が難しい状況ですが、オンラインでの研修企画・運営も重ねることにスキルアップしていき、オンラインでの研修の良さも感じられるようになりました。ただ、やはり会員同士が直接、顔を合わせて学ぶことや交流を深める機会を設けられたらと思いますので、これからはコロナの状況や時期をみて集合研修やハイブリッド式の研修も考えていきたいと思っています。

会員みなさんが学びたいと感じられるような研修を企画することや、会員同士のつながりの強化を図れるよう、所属や地域を超えたつながりを築ける企画を工夫し、みなさんと一緒に学び合える機会を作っていけたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

## 広報調査研究部の紹介

### 広報・調査研修委員長 西田 華（かないわ病院）

広報・調査研究部は会員の皆さんに向けて、様々な情報発信を行い県士会活動や研修への参画を促すことができるよう活動しています。

昨年はアンケート調査を実施し、私たちの実践や専門性を振り返る機会になったのではないのでしょうか。アンケート調査の回答や会報誌への寄稿などは、県士会会員の皆さんのご理解・ご協力により、当部会の活動は成り立っております。アンケート調査にご協力いただきありがとうございました。

また、年 1 回発行している会報誌“くろーばー”では、県士会会員の活動実績報告や研修報告などを掲載しています。そして現在、広報調査研究部員を絶賛募集中です。企画・編集した会報誌が会員の皆さんの力や支えになるかもしれません。そんな企画と一緒に考え、他の部員との交流を通してネットワークを広げてみませんか？みんなで会報誌を盛り上げていきましょう！

皆さんからのご意見やご指導を賜りますよう、今後ともよろしくお願いいたします。



## 事務局の紹介



現在の事務局は、加賀こころの病院に設置され、事務局長の下、所属機関が異なる4名の事務局員で会の運営に係る業務を行っています。

業務内容としては、主に理事会や総会運営、会計業務、メンバーリストを管理し会員の皆様への情報発信、問い合わせ窓口としての業務等を行っています。また、各部会の委員会に参加し、交通費や日当の請求業務やZoomミーティングの予約調整等、委員会の活動がスムーズに開催できるようにサポートをしています。

事務局員として、理事会や委員会の場に同席してさまざまな課題に取り組む中でいろいろなアイデアや工夫について学べる機会があり、毎回勉強させていただいております。この数年で事務局メンバーの入れ替わりもあり、ようやく事務局業務にも慣れてきましたが、まだまだご迷惑をおかけしていることも多いかと思えます。皆様からご指導いただき、ご意見をお聞きしながら、会員の皆様が活動・参加しやすいように、微力ではありますが頑張っていきたいと思っています。今後ともよろしくお願い致します。

### 「精神医療審査会」・・・岡部病院 国下淑代

精神医療審査会は都道府県に設置義務があり、精神科病院入院中の方の人権に配慮し、適正な医療と保護を保障する目的があります。石川県精神医療審査会では、医療保護入院届の審査・退院請求・処遇改善請求等を行い、当会からは予備委員含め4名の精神保健福祉士が参画しています。

審査委員は、精神保健指定医・弁護士・精神保健福祉士・保健師等、1合議体各5名で構成され、其々の立場から協議をしています。定期病状報告書では、退院後生活環境相談員の退院に向けての取り組み内容を記載する欄があります。病状が悪くても退院に向けて出来る事をチームで何度も検討した記載や、意思確認が難しい場合もソーシャルワーカーがかかわって本院の思いを汲んだ記載等をみることがあります。かかわりを工夫し丁寧に向き合う視点は、自分自身のかかわりと照らし学びを得る機会となっています。今後も精神保健福祉士が精神医療審査会に参画している意味を意識して、臨みたいと思います。

### 「スクールソーシャルワーカー」・・・相談支援事業所ピアサポート北のと 多木和也

能登地区でスクールソーシャルワーカーを5年程させてもらっています。石川県は外部派遣型で学校長から依頼があると、その学校へ派遣され、生徒本人はもちろん、そのご家族や先生方から学業や将来の進路・人間関係・家庭問題など、様々な相談を受けます。直接的な支援では、学校や家庭に訪問し、生徒やその家族と面談を行い、関係機関につなぐといった支援を行います。間接的な支援では、先生とともに、学校の支援体制の構築及び生徒の特性を理解しながらかかわりについて考えることや、関係機関との連携などを行います。メンタルヘルスに関する相談も多く、精神保健福祉士として専門性を期待されていると感じています。

悩むことも多々ありますが、その分成長もできるので、もっと仲間を増やすことができたらいいなと思っています。よりよい支援ができるように日々研鑽していきたいと思っています。

## 「日本精神保健福祉士協会代議員」・・・相談支援事業所なんでも 木谷昌平

こんにちは、相談支援事業所なんでもの木谷です。今日は日本精神保健福祉士会の「代議員」についてご紹介いたします。

日本精神保健福祉協会では、総会時にすべての構成員を社員とする直接民主制を採用していましたが、構成員の増加に伴い、2016年度から代議員制（間接民主制）を導入した経緯があります。代議員の役割は、①構成員の意見を踏まえて協会本部に提案すること、②総会での審議・決議事項などの内容や経過を構成員に説明し開かれた協会運営に努めること、とされています。①や②を遂行するために、総会やブロック会議に参加し、メーリングリスト等を活用して構成員に情報が伝わるよう工夫しています。おおむね構成員 150 人当たりで 1 人の割合で定数が決まるため、石川県では代議員は私一人ですが、皆様の声を届けたいと思いますので、協会に対する意見等あれば教えてください。皆さんの意見をお待ちしております。

## 「石川県高齢者・障害者虐待対応専門職チーム」・・・自立就労支援センターいしびき 中村みづ穂

このチームは、行政が行う高齢者・障害者に対する虐待への対応を中心とする“権利擁護業務”についての支援を目的としています。社会福祉協議会が事務局となり、金沢弁護士会・石川県社会福祉士会・石川県相談支援専門員協会・県士会で組織されています。事例検討等を通してチームのスキルを磨き、市町の虐待対応へのアドバイスや講師派遣を行っています。私自身は、ソーシャルワーカーとして”虐待かどうか”だけでなく「その人がより豊かに自立した暮らしができるにはどうしたらよいか」という視点も忘れないよう心掛けています。



### 障がい者施設夢兎明 上口泰広

令和4年度、入会しました上口です。現在は、障害福祉分野の中で、特に重度知的障害者の支援に携わっています。精神保健福祉士は、以前から取得したいと思っていましたが、なかなか実行できずにいました。このたび養成校を卒業して、入会いたしました。これまでに、高齢者施設、障害者施設と経験をし、その中で心理面やメンタルヘルスに対する支援が大切になると感じ、勉強しました。

今後とも、県士会で研鑽を続け、より専門性の高い支援ができるようになりたいと思いますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。





## 社会福祉法人なごみの郷 就労支援センターつばさ 北島千裕

皆さんはじめまして。令和4年度より石川県精神保健福祉士協会に入会しました北島です。

大学卒業後、今の職場にお世話になり精神保健福祉士の国家試験に合格しました。精神保健の分野についてはまだまだ分からないことだらけの毎日です。教科書等からの学びだけでなく、職場で出会う当事者や家族の方々、また支援に関わる関係者の皆さんからも学び、また県土会の研修等を活用しながら、頑張っで学んでいきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。



## 栗津神経サナトリウム（デイケアコンチェルト） 中村美穂

令和4年度より県土会に入会しました、中村と申します。同年6月に、同一法人の就労継続支援B型作業所「心愛」に配属され、現在はデイケアにて勤務しております。右も左も分からない新人の私ですが、日々、利用者の皆様や職員の皆様に支えられています。

「心愛」においては、ねじの袋詰め・床の磨き方、デイケアにおいては、編み物・折り紙・バトミントン等、様々なことを利用者の皆様に教えて頂き、感謝しています。一人の人間として、真摯にその恩に報いたいと考えています。その思いが、精神保健福祉士としての私の“道”となるのだと思ひます。私の恩師いわく「精神保健福祉士を育てるのは、利用者の皆様である」とのこと、その言葉は、真に金言であると感じる今日この頃です。今後とも、何卒よろしくお願ひいたします。



### 石川県精神保健福祉士会ホームページについて

URL : <http://ishikawa-psw.main.jp/index.html>

### 石川県精神保健福祉士会事務局

〒922-0424 加賀市小菅波町 121 番地 1

医療法人社団長久会 加賀こころの病院

TEL : 0761-72-0880 FAX : 0761-72-0875

E-mail : [ishikawapswjimukyoku@gmail.com](mailto:ishikawapswjimukyoku@gmail.com)

### 編集後記

冬の寒さも過ぎ去り、あたたかくなってきた今日この頃…。桜が咲いたのでおやつを持ってお花見に行きました。お団子がとっても美味しくて、思わずにやけてしまったことはここだけの秘密です、みなさんはこの春、どのようにお過ごしでしょうか？

さて、今回は部会・委員会紹介をメインに記事を作成させていただきました。ベテランの方も、新入会の方も、改めて精神保健福祉士の部会・委員会について知っていただければ嬉しいです♪ ではまた次号でお会いしましょう(^) (O)